

日・EU市民交流年記念事業

ウィーン市民とのスポーツ交流参加

NPO 法人・ぎふ長良川走ろう会

マイドリング区 表敬訪問



12区マイドリングヴォタワ区長とぎふ長良川走ろう会高橋理事長

第22回ウィーンマラソン参加

- ・理事長 高橋 睦
- ・副理事長 梅田修正
- ・理事 河本ことゑ
- ・理事 遠藤博甫
- ・理事 高木英夫
- ・会員 戸田 彰
- ・会員 辻 三俊
- ・会員 松岡 秀子
- ・会員 関 秀子
- ・会員 岩崎恵美子
- ・会員 武藤 彰
- ・新会員 千田 銈三
- ・新会員 國府 靖



ウーン市12区、マイドリング区 表敬訪問

今年の日・EU市民交流年にあたり、その記念事業として、岐阜市と姉妹都市提携を結ぶウーン市12区マイドリング区市民と第22回ウーンマラソンを通じて交流することとなり、まず5月20日（金）マイドリング区を表敬訪問しました。岐阜市の嘱託職員であるウーン在住のエベリン ラクナーさんの案内で区役所を訪問、ガブリエレ ヴォタワ区長をはじめ、区長室長など多くの方々のご歓迎を受けました。席上、ぎふ長良川走ろう会高橋理事長は、細江岐阜市長から預かってきた区長宛のメッセージやお土産を渡し、来年もウーンマラソンに参加し国際交流を図りたいとの挨拶をしました。また、職員のみなさん手造りのマラソン応援横断幕も披露され、記念撮影など楽しいひとときを過ごしました。



区長(中央) 区長室長(右) エベリンさん(右端)



手造りの横断幕を持って記念撮影

老人フェスティバルと歓迎昼食パーティー

引き続き、老人フェスティバルの開催されている広場に移動し、会場のウーン市民に紹介され親しく交流しました。我々日本から来た13名のランナーのうち、70歳台2名、60歳台10名であること、フルマラソンを330回以上、180回以上、100kmマラソンを150回以上完走したランナーがいる事など紹介されると会場からは驚きの声があがりました。そして、お茶のお師匠さんである松岡秀子さんが、日本古来の伝統である抹茶を立て、ウーン市民に振る舞い喜ばれました。最後に料理専門学校に移動し、私たちのために生徒さんたちが心を込めて作って下さったおいしいウーン料理をご馳走になりました。先方からはおいしいワインが振舞われ、そして我々は日本から持参した日本酒を振る舞い、お互いお国の酒自慢の話に花が咲き楽しいひとときを過ごすことができました。



松岡さんがお茶を振舞う



日本古来の伝統、茶道を味わう



区長を囲んで記念撮影



料理専門学校のスタッフと一緒に

第22回ウーンシティマラソン参加

5月22日(日)第22回ウーンマラソンに参加しました。今年の参加者は21,382人、その内フルマラソンは6,709人、ハーフマラソンは5,130、その他キッツマラソンなどいくつかの категорияがあります。今回は風が強く、気温も高かったので、記録は伸びませんでした。男性1位:2時間12分20秒、女性1位:2時間39分44秒でした。我々13人は初フルマラソンの岩崎さんが04:27:26、高橋理事長が04:35:39など素晴らしい記録でした。公式の閉門時間は5時間30分ですが、遠藤さんは06:09:04でゴールでき、最終ランナーは06:10:59(5233位)なので、最後まで完走する意欲と体力さえあれば6時間10分くらいまではゴールを空けて待っていてくれそうな感じでした。来年はぜひとも30人規模で参加したいものです。

辻04:18:18、岩崎04:27:26、河本04:33:00、高橋04:35:39、千田04:41:21、戸田04:49:14、國府05:08:05
武藤05:22:12、梅田05:38:54、遠藤06:09:04、高木 32km種目変更、松岡ハーフ 3:00、関ハーフ 1:59

